



日高管内 道徳教育研究会

管内道徳教育研究会の

発展を期して



日高管内道徳教育研究会

会 長
長 田 哲 也

これまで日高管内道徳研究会の活動に対し変わらぬご理解とご協力を賜っております日高教育

局をはじめ、7町の教育委員会や管内小中学校の皆様へ深く感謝申し上げます。また、多くのご支援やご尽力をいただいている管内道徳教育研究会員の皆様にも心よりお礼申し上げます。学習指導要領も充実を図る時期となり、学習指導要領が目指している豊かな心の実現のために道徳教育の重要性が、より一層増しています。道徳教育の内容の充実や実践の積み重ねを図っていかねばならない今年度は、これまで以上に研究活動に力を入れ推進しているところであります。また、本研究会の体制も充実させ、これまでの研究の成果を土台として研究内容の充実・発展を目指しているところでもあります。今後も道徳の時間を大切にしていきたいと思いますものだと研究を進めています。

さて、今年の5月23日に『三浦雄一郎』さんが世界最高齢80歳で3度目のエベレスト登頂に成功いたしました。70歳で初登頂、75歳で2度目の登頂成功、そして今回の快挙となっております。しかし、これらの登頂は決して楽な道のりで

はなかったと聞いています。藻岩山も登れない程低下した体力を取り戻すことや大きな骨折からのリハビリなど多くの苦難を克服しての登頂であり、何よりあの世界の屋根エベレストを3回も制覇しているところに深く敬意を覚えるものであります。

三浦雄一郎さんが登頂を目指し成功したのはなぜか、そこにはエベレスト登頂という具体的で大きな「目標」があったからではないかと思いません。高く厳然とそびえる山頂があって、その頂を目指す意志と準備と計画があって初めて実現できた快挙ではなかったかと思えます。本研究会も平成28年度に日高で初めての「北海道道徳研究大会」を開催するという大きな目標を得ることができました。目標を定めたということは、研究大会に向けての準備と計画、そして研究が確実に動き出したということでもあります。「全道道徳日高大会」の実現のためには、まだまだ乗り越えなくてはならない課題が山積するのは事実であります。多くの準備が必要であるということも理解しているつもりです。登山の時と同様、小さくとも一步一步の教育実践を積み重ね、目標に向かって着実に歩みを進めていきたいと考えます。

全道大会では青い海と緑の山脈が続く豊かな自然や山海の幸に恵まれた馬産地日高を紹介できたらと思えます。何より温かな教育環境に育まれた日高の子どもたちを発信していきたいと考えます。地域の良さを生かした道徳教育を進めている日高をアピールしていきたいと願っています。日高管内の道徳教育が、平成28年度という大きな目標に向かって確実に実践を重ね研究を進めていけるよう、これからも変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

平成25年度事業計画

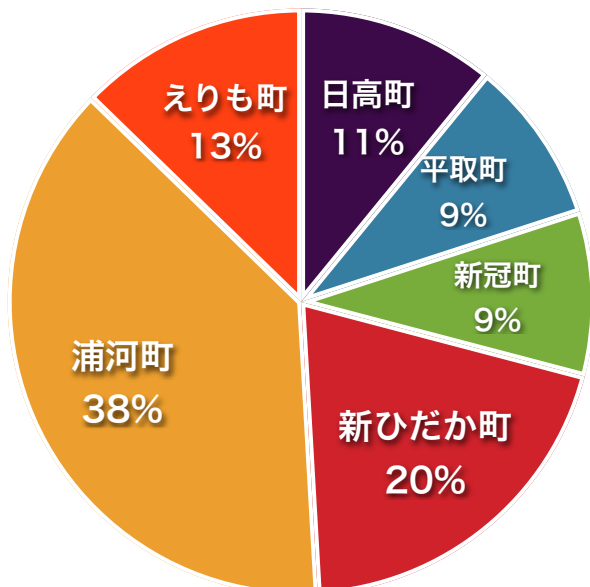
事業名	場所	期日	内容等
事務局研修会	荻伏中学校	4月22日	○事業計画・予算・会員等の確認
理事研修会	荻伏中学校	5月13日	○事業計画・予算・会員等の提案
日高管内道德教育研修会	静内第三中学校	8月7日	○道德の時間の基本的な展開方法の学習 ○共通教材を用いての指導案作成（指導方法の学習）
全国小学校道德教育研究大会	沖縄県那覇市	11月1日	○分科会提言者 北海道代表 浦河小学校 松田教諭 （野深小学校 鈴木教頭の代理派遣）
北海道道德教育研究大会	旭川市永山中学校	11月15日	○役員・理事の派遣 理事会—長田 哲也校長 司会者—分科会2 庶野小学校 矢野 涉教頭 提言者—分科会5 浦河第一中学校 廣瀬 崇教諭 ○参加対応
日高管内道德教育研究大会	静内第三中学校	11月27日 午後 (予定)	後援：北海道教育庁日高教育局 新ひだか町教育委員会 主題：心豊かによりよく生きようとする「日高の子」の育成 ～かかわる力をはぐくむ道德の時間の充実を通して～ 授業公開学年・教諭 未定
会報の発行	広報部	各学期末	○道德部会・道德教育に関する情報
研究紀要第34号の発行	事務局	3月末	○平成26年3月に発行・配布
授業実践交流通信 「こころ」の発行	事務局	随時	○各学校及び会員の授業実践の紹介 ○37号～

55名のメンバーで活動を進めます！

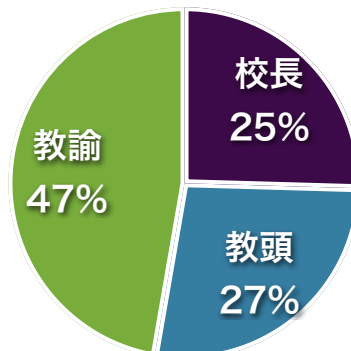
5月末で締め切られた当会の会員募集でしたが、各町理事のみなさまの熱心な声かけのおかげで、55名もの会員のみなさまのご参加をいただき結果となりました。多くの会員のみなさまの実践を交流しながら、日高の道德教育の推進役として、当会の活動をますます盛り上げていきたいと考えておりますので、上記の各事業に出来るだけ、参加いただけるよう、よろしくお願い致します。

さて、左に会員のみなさまを町別、職種別に分けて、グラフで表してみました。数年前と比べ、道德の授業実践が日高でも進んできたとは言わ

れていますが、グラフを見ると、まだまだ東部に多くの会員が固まっていることや授業実践を行う一般教員の人数が全会員数の半数にも満たないことが明らかとなっています。こうした現状を踏まえ、今後の当研究会の活動も進めていかなければなりません。日高の子ども達に道德的な力を育ていくためにも、多くの先生方の参加をいただける魅力ある活動を55名のメンバーで創り上げていきましょう！



町別会員数内訳



職種別会員数内訳